

健康と光線

変形性関節症

近年、高齢化社会を迎えて、加齢による関節の変形を伴う変形性関節症の患者は明らかに増加しています。これら疾患に共通の症状は、関節の痛みと関節機能の低下ですが、背景に加齢による軟骨の磨耗や筋肉や靱帯など支持組織の脆弱化に、しばしば骨の粗鬆化が症状を悪化させていること、また高齢者ほど鎮痛剤の副作用の胃腸障害が高率に重症化することなどのため、患者のQOL（生活の質）やADL（日常生活動作）を著しく低下させます。でも中には、「年だから治らないのは仕方ない」と半ば諦めている人もいます。

しかしサナモアで変形性関節症を治療すれば、副作用を気遣う必要はなく、痛みを鎮めて関節機能の回復を促し、QOLやADLを高め、以前の快適な日常生活を取り戻すことが期待できるのです。次ぎに治療に際して留意すべき点について記述します。

即効性の鎮痛効果

変形性関節症の治療で真っ先に求められるのは、痛みを和らげる即効性の鎮痛効果です。そのためには全身の基本照射に加えて、痛みが強いほど患部には時間を長めに照射する必要があります。その理由から説明します。

サナモアの鎮痛効果は、光線の透過性の深部温熱作用により局所的に深部体温が上昇するのに応じて、体温のホメオスタシス（恒常性）を保つため患部の血流が増え、同時に毛細血管を含む末梢血管が拡張して微小循環が促されるため、血液循環が亢進して筋肉が弛緩し、発痛物質のような炎症物の吸収排泄を

促すためです。すなわち鎮痛効果を実感するには、痛みが強いほど照射量、照射回数を増やす必要があります。

具体的には、痛みが和らぐまで、基本照射に併せて、患部に最短でも30分以上、日に二、三回照射するように指示することもあります。この際、照射中に患部の循環障害が改善する過程で一過性に痛みが増すことがあります。

しかしサナモアで照射を止めず継続すれば痛みは鎮まります。なおサナモア光線治療院では、閉鎖空間の中で四台から五台の

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

変形性関節症の治療の留意点

—サナモアの即効効果と加算効果—

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

臨床的治療に 導く加算効果

治療器を用いる多灯照射を行っています。光線の光作用に温熱作用による熱気浴を併せて利用するため、血行は著しく促進し鎮痛効果を一層高めます。

変形性関節症の究極の治療目標は、単に鎮痛効果に止まることなく、QOL、ADLに支障のない状態まで回復させる、換言すれば臨床的に治療に近い状態に導くことです。それはサナモアを継続、反復し、繰り返して患部の血行や物質代謝を促すことで、自己の修復能、すなわち自然治療力を向上させなければなりません。

加えてサナモアの独自の効果として、ビタミンDの生成があり、調節作用は、骨粗鬆症の治療に益する効果や筋力を増す効果があります。また細胞分化誘導作用

については、ビタミンD受容体が軟骨細胞にあることから、再生しないと考えられていた軟骨細胞の再生に関わっていることが示唆されています。従来、変形性関節症の変形は、加齢により軟骨が徐々に磨耗して関節間隙が狭小化し、骨と骨とがぶつかり異常な骨増殖（骨棘）を来たとされていることから、病因から改善する効果が期待できるのです。なお治療に並行して、関節の可動域を保つ関節運動は必ず行ってください。

ところでサナモアで治療した効果が無いと言っている人がいます。それでもこれまで述べた留意点を参考にして治療を続けて下されば、自己の修復能が回を追って加算され自然治療力が向上して臨床的治療が期待できますので、あせらずに続けてほしいと考えています。

夏季臨時休業のお知らせ

八月十二日(金)から十五日(月)まで夏季臨時休業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

一病息災 一病息災

急性・慢性前立腺炎

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

泌尿器科領域の感染症には、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎などがあります。今回は、複雑な病態を呈する前立腺炎を取り上げます。

前立腺は薄い線維性被膜に包まれ、膀胱頸部と尿道括約筋の間に位置し、中を尿道が貫通す

るクルミ大の臓器で、精子の運動を活性化する液体を分泌しており、前立腺肥大症、前立腺癌といった疾患は、中年期以降の男性特有の疾患として、ご存知の方も多いでしょう。

前立腺炎は、急性と慢性に大別されますが、急性では明らかな細菌感染としての所見を有するのに対し、慢性は細菌感染としての所見が乏しい点特徴で

す。また前立腺炎による症状は、急性の場合、悪寒戦慄を伴う高熱、倦怠感、排尿痛を中心とした膀胱刺激症状ならびに排尿困難などが主で、比較的急激に発症し、前立腺の有痛性腫脹、圧痛などを認めます。これに対し、慢性の場合は、膀胱周囲の下腹部から会陰、陰囊、尿道など陰部を中心とした疼痛や不快感、頻尿、排尿時不快感などの排尿

症 例：40歳、男性。

主 訴：会陰部の疼痛と不快感。排尿時の不快感。

起始・経過：数年前より上記主訴が繰り返され、近医泌尿器科通院している。医師から慢性前立腺炎と説明されているが、明らかな細菌感染としての所見に乏しく、起炎菌は同定されていない。これまで、症状増悪時には抗生剤の内服を行ってきたが、明らかな効果がなく、一向に改善しないため当院を受診した。

治 療：①側臥位にて30分、4灯照射。

下腹部(BD)、肛門部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

②仰臥位にて30分(集光器使用)。

膝裏を抱えるようにして会陰部を直接照射。

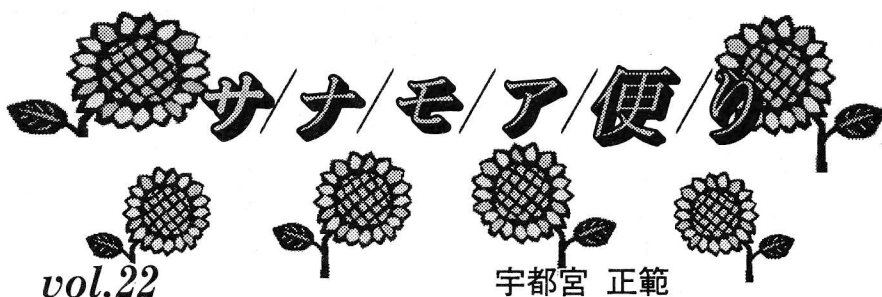
経 過：初回の治療後から会陰部の不快は軽くなる。患者は、遠距離であったため通院困難であり、光線治療器を購入後、自宅での治療を開始。毎日、患部に加え基本照射を1時間行ったところ、1週間後には、明らかな改善を認め、約3か月でほぼ症状は消失。その後も治療を継続しているが、今では再発することもなく良好に経過していると報告を受けた。

病気と光線療法

症状、射精痛などで、前立腺局所に明らかな異常を認めないといった特徴があります。現状で、慢性前立腺炎は、病態の解明が十分でなく、治療手段も確立されておらず、多彩な臨床症状を呈する疾患群と位置付けられています。

サナモア光線療法は、腎血流量を増加し利尿作用を高め、スムーズな排尿を促すため、腎尿路系の疾患全般に対して、確実な治療効果を期待できます。とくに本症例のように、数年の経過において、難治性の慢性前立腺炎が遷延するケースにも有効で、前立腺局所に消炎効果を発揮し、会陰部の不快感を軽減します。治療は、下腹部や会陰部からの直接照射が推奨されますので、前立腺の病気でお悩みの方は、是非お試し下さい。

第十期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ
第十期サナモア光線治療師養成講座を、七月に東京にて開講



医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究

第二十回 「光と熱研究会」 のお知らせ

します。光線治療院の開業を検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、サナモア光線治療院（〇三―五七五九―三七一〇）までお問い合わせ下さい。

開 講 日 程

7月7日（木）・8日（金）・9日（土）

講 座 内 容

サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
光線治療器のメンテナンス法
ループ式・マルチアーク療法の実践
医学総論・関係法規
開院のための準備

会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日 時：十月二十二日（土）

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院& 治療師紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得され、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介します。

光線とともに

野津恂子 光線治療師（六期）

住所：鹿児島市緑ヶ丘町

一七一一二

電話：〇九九―二四三―三六一五

わが家の光線療法との出会いは35年前にさかのぼります。先代の宇都宮義真先生との出会いに始まりました。私の姑は101歳



野津恂子先生

で亡くなりましたが、67歳の時、肝臓病を患い、先生のご指導を頂き光線療法で完治しました。

その後、姑はサナモア愛用者になり、一日一回の基本照射を日課としておりましたが、その効果で身体の不調を訴えることもなく、健康で幸せな人生を楽しむことができました。これもひとえに光線療法のお蔭と私は確信しております。私自身も事故で受けた打撲による痛みを光線療法で完治したことは、何より得がたい私自身の貴重な体験になっております。これまでの体験を自信として、光線療法の効果や素晴らしさを、一人でも多くの方に伝えていきたいと考えております。

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

治験例報告

前立腺肥大症による

不快な症状が光線療法で軽快

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 68歳 男性

症状 前立腺肥大症の切除手術

を受けてから一年後に再発し、

頻尿、排尿時の不快感など特有

の症状に悩まされる。母親が二

十数年間サナモアを愛用してい

たことを思い出し、是非とも光

線療法で治したいと来所した。

療法経過 治療はBDカーボン

を用い、会陰部40分、下腹部20

分、腰部20分の照射後、ABカー

ボンで、足裏10分、膝10分行っ

た。自宅での治療は、最低でも

一日に二回行うことを指示し、

とくに会陰部の照射は、体調を

見ながら、60分くらいまで延長

してもよいと説明した。さらに

症状の出現に波があり、改善、

改善が見られても、中断せずに

根気よく続けるよう指示した。

約一か月経過した頃、排尿時の不快感は減少して、苦痛だったトイレが楽になってきた。さらに半年後には、排尿に勢いが出

てきて、それまで細かった尿線も気にならない程になり、残尿感も少なくなつて、夜間の頻尿に悩まされることもなく睡眠不足も解消された。その後、病院で検査を受けたが、特に問題を認めず、良好に経過している。今後も、再発予防のために光線療法は必ず継続するように指示した。

TEL078-331-2358

治験例報告

左肺に認めた腫瘤影が

光線療法で消失した

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 75歳 男性

症状 約20年前に大腸癌と診断

され、サナモアで治療した既往

がある。最近、少し息苦しさを

自覚するようになったため病院

を受診。胸部レントゲン検査に

て、左肺に径約3cmの腫瘤影を

指摘され、悪性腫瘍の疑いが高いと診断されたが、サナモア光線療法での治療を希望され来所した。

療法経過 BDカーボンを使用

し、左胸部を前方から30〜60分、

後方から20〜30分、右胸部も同

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。
(株)東京光線療法研究所

様に、前後から20〜30分の照射を始め、慣れてきたところで、徐々に照射時間を長くするよう指示。さらに、足裏、膝、腹部、腰部、咽頭にも各20分の照射を行うように指示した。この際、長時間の治療で脱水にならないよう、適宜、水分の補給を心掛ける点に注意した。数か月後に連絡があり、ほぼ一日中治療を

行い、一か月経過した頃、病院で再検査を受けたが、胸部レントゲン検査で、左肺に認めた腫瘤影は消失しているとのことであった。患者自身が信じられない気持ちで、これからもサナモア光線療法を続けると言って大変喜ばれていた。

TEL092-581-2039

五八一二〇三九
五七二一五七三

治験例報告

右腎の腫瘍性病変が
光線療法で消失した

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 69歳 男性

症状 数年来のサナモア愛用者であったが、身体と両足がむくみ、疲れやすいと訴えて来院。

光線療法を当院と自宅にて行っていたが、病院で精密検査を受けたところ、右腎に腫瘍性病変を指摘され、悪性腫瘍の疑いがあるため、早期の手術を勧められた。しかし、手術を拒否し、

光線療法で治したいと言って来院したため、悪性腫瘍が疑われる場合には、最低でも3時間の治療時間を要することを説明の上、平成十四年十月十日、当院での治療を開始した。

療法経過 治療はB Dカーボンにて四台の治療器を使用。大殿筋と腰部には約3時間の照射を

行い、顔面、足首、膝、後頭部に15分、腹、膝裏、足裏に30分照射後、仰臥位とし、左右の肩15分、左右の腰30分、膝に15分の照射を毎日施行した。自宅で

治験例報告

光線療法で肺癌の増殖を抑制した

武蔵野市 カワグチ光線整体療法院

川口 一憲氏報告

症例 65歳 男性

症状 二年半前、朝、咳き込んだ後、血痰が出たため、近医を受診。右肺に腫瘍影を認め、精密検査で右肺癌(ステージ3)と診断。抗がん剤による入院治療

の治療も並行して行ったところ、約一か月でむくみが軽減し、平成十五年四月には、全身のむくみは完全にとれ、病院での検査結果も良好との報告を受けた。当院での治療は、平成十六年八月で終了し様子を見ていたが、本年一月、患者から、病院で行った検査で右腎の腫瘍性病変は消失したとの喜びの連絡を受けた。

(TEL) 04四七三二一五〇六七

全自動光線治療器
はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む

光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

療法経過 治療は右側臥位にて40分。背部(B D)、腹部(B D)、膝(A B)、足裏(A B)を4灯で照射。その後、左側臥位として20分。右胸部(B D)を前後からはさむように2灯で照射した。3日に一度の頻度で治療を開始したが、本人は、自覚症状がないため、光線治療の効果は、次回

た。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

と言っており、半信半疑の状態ながら治療を継続した。数か月後の病院で行ったレントゲン検査で、医師から腫瘍の大きさは前回と変わりなく、大きくなっていないとの説明を受けたため、サナモア光線療法を継続する意思を固められ、現在も通院されている。

(TEL) 04三二二二二二九九〇

サナモア光線療法 体験記

親戚一同、皆で
サナモアを
愛用しています

山口県 徳永 満代様

いつも「健康と光線」をお送り頂きありがとうございます。今、元気でこうしてペンを取ることが出来るのもサナモアのおかげです。数年前、娘が卵巣癌を患い、医師から余命二か月と宣告されました。この時、サナモアを購入し治療を始めました。入院している時は夜中にサナモアを照射し、七年間もがんばってくれました。また、主人も、心筋梗塞、糖尿病で、医師に「もう駄目だから、家族を呼びなさい」と言われてから、十八

年間も元気で生きてくれました。私自身は、今年で七十二歳になりましたが、毎日の照射のおかげで元気に過ごしており、たさんの田畑と戦っております。つい先日は、これまでほとんど保険証を使うことがなかったため、国民健康保険優良家庭として表彰されました。今では、親戚一同、皆でサナモアを使っており、大変喜んでいきます。本日に、サナモアをもっともっと多くの人に信じて使ってほしいと願っています。サナモアのおかげで、元気に明るい毎日を送っている幸せな私です。

父と光線研究所に 伺ったことが 懐かしい思い出です

町田市 竹永 富美子様

八年前、交通事故にあいました。犬の散歩中、無灯火で脇見運転の車に跳ね飛ばされ、右上腕骨折、仙骨骨折、頸椎損傷、歯の損傷…と、本日に臨死体験を致しました。十か月間の長期にわたる入院生活が続き、退院

後も後遺症が残ってつらい思いをしている時、自宅で光線療法を始めたところ、嘘のように楽になりました。また私の両親もサナモアを使い続けておりました。父は腰痛に對して、母は股関節の病氣に對してサナモアを使っており、本日に助かっておりました。父は年には勝てなく、父は九十四歳、母は八十八歳で天寿をまとうしました。私が父を連れて初めて目黒の光線療法研究所まで治療に伺ってから何十年が経ったでしょうか。その間、ずっと使用してきましたが、父とともに伺ったことが、今では懐かしい思い出となりました。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものではありません。ついでに体験記をお送りください。ますます、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三―五二八― 三七二―一五三二―

(本紙の無断転用を禁止します。)